

平成30年度予算総額

334億5,810万円

平成30年度当初予算は、第2次総合計画前期基本計画の2年目として、計画を着実に推進させるため、新しい図書館を含めたJR亀山駅周辺の拠点力向上をはじめ、地域の公共交通の再編と新たな交通手段の確保や地域で助け合う福祉のしくみづくり、子育て世代への切れ目のない支援などの施策に重点を置いた予算としました。

“緑の健都”展開予算

主な事業として、JR亀山駅周辺整備事業では駅前広場や関連道路などの整備に着手するほか、川崎小学校改築事業及び「関の山車」会館整備事業は事業最終年度となることから、年度内完成を目指して進めます。

新たな事業として、地域の公共交通の再編・充実を図るため乗合タクシーの運行を開始するとともに、地域における助け合い・支え合いのしくみづくりとして、亀山市社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置します。そのほか、妊娠期から子育て期までの総合的な支援体制の充実に向け、子育て世代包括支援センターを設置するとともに、未就学児(0歳～6歳)の医療費の窓口無料化を実施していきます。

予 算 総額 334億5,810万円 (前年比 2.1%減)	一般会計 総額213億100万円(前年度比1.1%増)
	特別会計 総額59億9,780万円(前年度比9.0%減)
	企業会計 総額61億5,930万円(前年度比5.3%減)

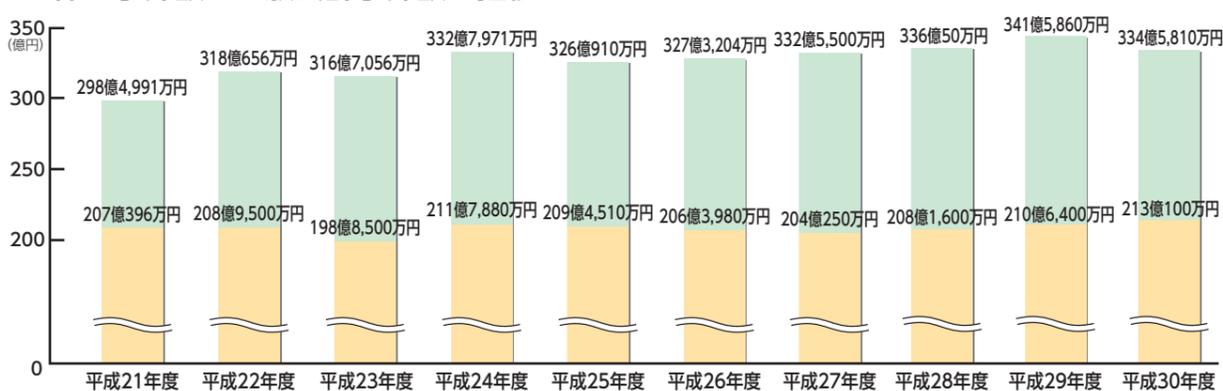
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ①国民健康保険事業 45億330万円(前年度比14.1%減)
- ②後期高齢者医療事業 10億900万円(前年度比12.7%増)
- ③農業集落排水事業 4億8,550万円(前年度比7.5%増)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業 17億9,950万円(前年度比11.4%減)
- ②工業用水道事業 8,580万円(前年度比0.2%減)
- ③公共下水道事業 22億4,850万円(前年度比1.7%増)
- ④病院事業 20億2,550万円(前年度比6.9%減)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

総額 213億100万円

